

平松 礼二 館

画業をたどるシリーズ③ 飛躍の時代～NEW YORKシリーズから 1989-1994
2020. 10. 1～11. 30

第2次世界大戦の真ただ中で生まれた平松画伯は、アメリカ文化の洪水の中で青年期を過ごしました。戦後日本の美術が、アメリカのポップアートなどの新しい動向の影響を強く受け、西洋美術一辺倒になっていく中で、憧れと反発という矛盾する感情を抱えながら、日本画家としての道を歩んできました。

40代の終わりころ、美術番組の取材で渡米しニューヨークのエンパイアステートビルを訪れた画伯は、見渡す限りのパノラマ風景を目にして「現代生活の極みの風景」に対する感動を描いてみたい欲求にかられたといいます。アメリカの象徴である摩天楼を真正面から描くことは、自身の葛藤に区切りをつけ、新たな一步を踏み出すひとつの転機でもありました。

都会の機能美を実験的に描いた作品群には、アジアからアメリカ、後にヨーロッパへと大きく羽ばたいていく画家の意気込みが感じられます。

No.	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横)cm	
1	NEW YORK-NIGHT	1994	麻紙／岩絵具	1167×803	
2	NEW YORK-TOWN (I)	1994	麻紙／岩絵具	1167×803	
3	NEW YORK-TOWN (III)	1994	麻紙／岩絵具	1167×727	
4	NEW YORK-DOWN TOWN	1994	麻紙／岩絵具	1167×803	
5	NEW YORK-WHITE MOON	1994	麻紙／岩絵具	1121×1621	
6	NEW YORK-TWIN TOWER	1994	麻紙／岩絵具	803×1167	
7	NEW YORK-TOWN PLANTS (A)	1994	麻紙／岩絵具	1621×1121	
8	NEW YORK-FROM NEW YORK (IV) 4曲1隻屏風	1994	麻紙／岩絵具	1710×3400	所蔵
9	NEW YORK-WINDOW 4曲1双屏風	1994	麻紙／岩絵具	1710×6800	所蔵
10	SOHO	1990頃	紙／コンテ、墨	395×320	
11	クライスラービル	1990	紙／コンテ、墨	660×395	
12	NEW YORK L	1990頃	紙／コンテ	500×615	
* 文藝春秋表紙原画					
13	男体山	2002年10月号	2002	麻紙／岩絵具	610×650
14	妙義山	2002年11月号	2002	麻紙／岩絵具	610×650
* 特別展示					
15	日本の光		2003	麻紙／岩絵具	970×1455